

## 「数学的ビーズ編み」で多面体

鳥羽大庄屋かどや 元教諭 堀部さん個展



ビーズ編み作品について来場者に解説する堀部さん＝鳥羽市鳥羽の鳥羽大庄屋かどやで

日まで、鳥羽市中心部の鳥羽大庄屋かどやで開かれている。多面体構造の35種類60点以上の作品が紹介されている。

サンゴ礁を思わせるような輪や球体、木製の玉を1224個並べた幅約1メートル、高さ約50センチの複雑な構造体が目を引く。いずれの作品も球状のビーズにテグスを通して編んだ。数学的な美しさを求め、面は五、六、七角形でそろえている。

堀部さんは、かつて愛知県内の高校で数学を指導。江戸時代の和算の公式集を基に約30年前に「数学的ビーズ編み」と名付け、製作してきた。「多面体構造は面白い。30年間で作ってき

規則性がある多面体ビーズを編んでいる元高校教諭

堀部和経さん(68)＝岐阜県多治見市＝による個展が25

た作品を見てほしい」と来場を呼びかけている。

入場無料。午前10時～午後4時(最終入館は午後3時45分まで)。☎鳥羽大庄屋かどや＝0599(25)8686(北村太一)